

三者連絡会(教授職員会、琉大労組、琉病労)

ニュース 第33号 「島根大を見よ！」

2009年9月15日 事務局・琉球大学教授職員会(内線2023)

E-mail kyoshoku@eve.u-ryukyu.ac.jp http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~kyoshoku/

琉大労組(内線2024) 琉病労(内線7-2099)

夏季一時金削減問題：他大学の状況は？

9月4～6日に、全国大学高専教職員組合(全大教)の第21回教職員研究集会が静岡大学を会場に開催されました。全国の大学、高専などから260名が参加し、琉大からは教授職員会役員1名が参加しました。3日間を通して国立大学法人制度の問題点を議論するとともに、代表者会議では夏季一時金削減問題を中心に活発な議論が行われました。6月夏季一時金カット分における各大学組合の使途・交渉状況を下記の表にまとめました。

島根大学のように、学長・当局との誠実な交渉によって、夏季一時金カット分を各学部の教育研究費や職員の研修経費、旅費などに活用するといった代償措置の合意に至った先進的事例が紹介されました。また、九州地区の大学でも、夏季一時金カット分は削減ではなく凍結として、今後使途については労使の交渉によって決定している現状を知ることができました。それに対して琉球大学の現状はいかがでしょうか。労使の合意もなく、当局から代償措置の提示もなく、使途決定を強行するのは「ありえない」事態と言えましょう。

2009年6月夏季一時金カット分における各大学組合の使途・交渉状況

大学	使途決定・交渉状況等	コメント	備考
島根大学	教員の夏季一時金カット分は、所属の学部等の教育研究費として活用できるようにする、職員のカット分は研修経費や旅費で活用する、事務職員のキャリアパスの整備、有期雇用職員の正規職員への登用制度見直しなどの代償措置を講ずることで合意		★ ◆
埼玉大学	地域手当を4月に遡って1%引き上げる成果		
奈良教育大学	4月からの地域手当の引き上げ、附属学校非常勤講師の時間単価の引き上げなどを勝ち取る		
熊本大学	使途未決定、交渉中、労働協約締結	当局と最初に6月夏季一時金カット分が削減か凍結かを交渉し、学長と直々に凍結との労働協約を結んだ。使途交渉状況は下記3大学と同じ。	★
佐賀大学	使途未決定、交渉中	返金の可能性も残している。現実的には、教育研究費、教職員の研修費、旅費などの代償措置か？	●
大分大学	使途未決定、交渉中、確認書締結	労働契約法に準ずれば、琉球大学のよう	
鹿児島大学	使途未決定、交渉中	な使途決定強行はありえない。	

備考：★代表者会議での報告、◆全大教ニュース242号掲載報告、●交流会でのヒアリング

労働委員会へあつせんを申立

夏季一時金引き下げに関する他大学の交渉状況と比較すると、琉大当局がいかに不誠実な交渉態度をとっているかは明白です。また、ボーナスカット分をすべて授業料免除に充てるという琉大当局の非常識な措置が、悪しき前例と

して全国の大学の運動に悪影響を及ぼすことも、避けなければなりません。そのためにも、私たち組合が琉大当局の対応に異議を唱えていることを対外的にも明らかにする必要がありと考え、三者連絡会は、琉大当局の不誠実な交渉態度を改めさせるために、9月15日労働委員会に「あつせん申請」をおこないました。(詳報次号)